



The Baseball Hall of Fame and Museum

公益財団法人 野球殿堂博物館

野球殿堂入り表彰式

館長 庄司正信

～ 岩瀬仁紀氏、掛布雅之氏、富澤宏哉氏 ～



左から巨人・阿部慎之助監督、岩瀬仁紀氏、榊原定征理事長、掛布雅之氏、阪神・藤川球児監督、友寄正人氏、森健次郎審判長
(株)ベースボール・マガジン社提供

競技者表彰・プレーヤー表彰で野球殿堂入りをされた岩瀬仁紀さん、エキスパート表彰の掛布雅之さん、特別表彰で殿堂入りされた富澤宏哉さんの表彰式を、7月23日に京セラドーム大阪で開催されたオールスターゲーム第1戦の試合開始前に行いました。

岩瀬さんは1998年にドラフト2位で中日に入団。最優秀中継ぎ投手を3回獲得し、抑え投手になった2004年から14年まで11年連続で20セーブ以上をあげ、最多セーブを5回獲得されました。スライダーを武器に絶対的なクローザーとして5度のリーグ優勝、2007年の日本一に貢献されました。1002登板、407セーブは日本記録です。

掛布さんは1973年阪神に入団。3年目の76年に三塁手のレギュラーとなり、打率.325で初のベストナインを受賞。79年は48本のホームランを打ち本塁打王となりました。82年は35本塁打、95打点で二冠を獲得され、85年はチーム初の日本一に貢献、「ミスタータイガース」と呼ばれ4番打者としてチームを牽引しました。

富澤さんは1955年にセントラル・リーグの審判員となり、72年に米国のアル・ソマーズ審判学校に自費留学し、最新の審判技術を日本に採り入れました。80年にセントラル・リーグ審判部長に就任、在籍35年間で歴代2位の通算3775試合に出場されました。

セ・リーグ、パ・リーグ両軍の選手・監督・コーチがベンチ前に整列し、場内アナウンスで岩瀬さん、掛布さん、富澤さんの代理で出席した後輩でNPB野球規則委員の友寄正人さんが大型ビジョンでの映像紹介とともに登場されました。始めに、野球殿堂博物館・榊原定征理事長より記念のレリーフのレプリカが各々に贈られました。

次に、岩瀬さんには現役時代のぎを削った巨人・阿部慎之助監督から、掛布さんには後輩の阪神・藤川球児監督から、友寄さんには森健次郎審判長から花束の贈呈が行われました。記念撮影に続いての挨拶では、岩瀬さんより「このたびは大変名誉な賞をいただき、自分でいいのかなと思っております」と受賞の感想がありました。掛布さんは「私が思うミスタータイガースとは、阪神を愛し、応援し続けてくれたファン」とファンへの感謝の気持ちを述べられました。友寄さんからは「本当に幸せな審判人生でした」との富澤さんのメッセージが紹介されました。そして最後に改めて、満員の客席から受賞されたお三方に大きな拍手が送られました。岩瀬さん、掛布さん、富澤さん、この度は野球殿堂入り誠にありがとうございます。

The Baseball Museum

～イチロー氏～



左からイチロー氏と榎原理事長

(株)ベースボール・マガジン社提供(写真上・左下)

イチローさんの野球殿堂入り表彰式を、8月31日にバンテリンドームナゴヤで開催された高校野球女子選抜VSイチロー選抜KOBE CHIBENの試合終了後に行いました。

イチローさんは1991年にドラフト4位でオリックスに入団。94年に210安打を放ち、プロ野球史上初の200安打を達成しました。また同年から2000年まで7年連続で首位打者を獲得しています。また06,09年のWBCでは主力としてチームの連覇に貢献しました。アメリカに渡ってからは日米通算4367安打を達成するなどの活躍で、今年日米同時に野球殿堂入りされました。場内アナウンスでイチローさんがグラウンドに登場。始めに野球殿堂博物館・榎原定征理事長より記念のレリーフ



左から新谷早琴氏、イチロー氏、松井秀喜氏

のレプリカが贈られ、二人で記念撮影を行いました。次に松井秀喜さん(2018年殿堂入り)、女子高校選抜キャプテンの新谷早琴さんから花束の贈呈が行われ、三人で記念撮影をしました。

そして最後に改めて、両軍の選手、大勢のファンの皆さんから受賞されたイチローさんに大きな拍手が送られました。イチローさん、この度は野球殿堂入り誠にありがとうございます。

2025年野球殿堂入り特別展

会期 2025年7月29日(火)～10月5日(日) 予定

今年新たに野球殿堂入りされたイチロー氏、岩瀬氏、掛布氏、富澤氏の野球殿堂入りを記念して、「2025年野球殿堂入り特別展」を開催しています。4氏ゆかりの資料や写真等を展示し、経歴などをご紹介します。



クーパーズタウン出張報告

館長 庄司正信

クーパーズタウンのナショナル・ベースボール・ホール・オブ・フェイム・アンド・ミュージアム(アメリカ野球殿堂博物館)は、今夏より5年に渡り Yakyu | Baseballという日米野球交流に関する企画展示を開催します。この展示に当館が協力していること、私がアンバサダーを務めていることなどで、オープングレセプション、野球殿堂入り表彰式への招待状が届き、7月25日から30日の期間、私と司書の茅根が出張いたしました。

7月26日(土)の夕方はレジェンドパレードが行われました。我々はお昼ごろに現地に到着したのですが、もうすでに道路わきには多くのファンが場所取りをしており、日本やシアトルからも多くのファンが来ているようでした。パレードは18:00にオテサガホテルを出発し、徒歩で10分弱の博物館までトラックに乗った歴代殿堂入りのレジェンドが登場します。

今年殿堂入りしたイチローさんが奥様と到着した時には、ひときわ大きな歓声が上がりました。その後は博物館でレセプションパーティーです。博物館がホテルの宴会場のようでした。多くのレジェンドたちもイチローさんと会話を交わしていましたが、私もイチローさんに挨拶することができました。



パレード

翌日は野球殿堂入り表彰式でしたが、悪天候が予想され開催できるのか危惧されました。しかしながら、関係者の祈りが通じ、1時間遅れの14:30よりクラーク・スポーツ・センターの広場で無事開催できました。メジャーリーグ・ファンにはおなじみのジョン・フォガティ「センターフィールド」が流れ、約50人の歴代のホール・オブ・フェイマーが舞台上に登場、最後が今年殿堂入りしたビリー・ワグナー、表彰式前に急逝したデイブ・パーカーのご子息、故ディック・アレン夫人、CC・サバシア、そしてイチローさんです。

それぞれのスピーチの前にはマンフレッドMLBコミッショナーよりプラーク(レリーフ)の顕彰文が読み上げられた後、クラーク理事長より殿堂入りのリングが贈られ、ラウITCH館長より博物館で飾られるプラークがお披露目されました。皆さんユーモアを交えた素晴らしいスピーチでしたが、イチローさんの英語でのスピーチも会場を沸かせていました。

28日(月)はダブルデー・フィールドで開催されたロード・トゥクーパーズタウン・ライブ(トークショー)を見た後、博物館を見学しました。昨日は掲額されていなかった今回殿堂入りした方々のプラークには長い列ができていました。私たちも協力した Yakyu | Baseballの企画展示にも多くのファンが訪れており、日米の野球交流について興味を持って見学していました。

その後、コレクション・ディレクターのR.Jララ氏、インターンの梶田健次郎さんに収蔵庫をご案内いただき、貴重なコレクションを拝見させていただきました。

今夏のクーパーズタウン訪問は、私にとっては1987年2月以来のことと感慨深い出張となりました。前回は真冬で寂しい印象でしたが、今回の町を挙げて殿堂入りウィークエンドが盛り上がっている様子には感激しました。イチローさんの表彰式や日米野球交流の展示を視察できたことは大変貴重な体験でしたが、今回の出張の収穫はアメリカの博物館との絆を強くできたことでした。今後、経験したこと、見たこと、感じたことを当館の運営に活かしたいと考えております。



表彰式



当館から出品のレフティ・ゴメツの法被(左)、ミッキー・マントルのユニホーム(中)

野球殿堂博物館 トピックス

野球で自由研究! 2025 ～野球のしごと～ 開催

「野球で自由研究!」は展示、特別イベント、相談コーナーなどの複合企画で、夏休み恒例の小学生向け普及振興企画です。本年は、「野球のしごと」を副題とし、野球場で働く様々な職種や人数などの情報のパネル展示や、ヤクルト球団の青木宣親氏による「プロ野球選手のしごと」と題した講座を開催しました。

🕒 展示

特集展示は「野球のしごと」と、「野球用具のひみつ」の2テーマで開催。用具は魚雷型バットなど、触って体験できる展示を行いました。

🕒 特別イベント

本年もプロフェッショナルの方々に講師に招き、6つのイベントを開催しました。イベントの参加申込みは、7月3日（木）12:00より当館ホームページ（ECサイト）にて一斉受付を行い、先着順のイベントは、申込み日から約一週間ですべて完売となりました。「プロ野球選手のしごと」、「グラブ製作教室」のみ抽選制としましたが、それぞれ定員の10倍ほどのエントリーがありました。



青木宣親さん「プロ野球選手のしごと」

開催日	イベント名	講師
7月29日	ボールを遠くへ飛ばすには?	国立スポーツ科学センター 中島大貴さん
7月30日	バット製作実演(1日3回実施)	ミズノテクニクス 吉田健一さん
8月4日	夏休み審判学校 ※	NPB 森健次郎審判長他
8月13日	プロ野球選手のしごと	ヤクルト球団 青木宣親さん
8月19日、20日	グラブ製作教室(1日2回、計4回実施)	ミズノ 秋山裕司さん他
8月21日	ボールはなぜ曲がる?	中京大学 桜井伸二さん

※東京ドームシティ 屋内型スポーツ施設 スポドリで開催。その他は館内イベントホールでの開催。



ボールを遠くへ飛ばすには?



夏休み審判学校

🕒 ミニミニ実験コーナー、ギャラリートーク

自由研究のヒントを紹介するミニミニ実験コーナーに加え、ギャラリートーク「日本野球のれきしのひみつ」を計6日開催しました。

🕒 お悩み相談コーナー

図書室では今年も、「野球」をテーマに自由研究をしたい小学生をサポートする「お悩み相談コーナー」を開設しました。調べ方や資料紹介などを図書室スタッフがサポートし、今年は97人の小学生が参加しました。



野球殿堂博物館 トピックス

企画展「野球殿堂1959～2025 沢村栄治からイチローまで」

会期 2025年3月1日(土)～7月6日(日)

日本の野球殿堂は、当博物館の開館とともに創設され、昨年65周年を迎えました。本展では、野球殿堂の概要とそのあゆみを、顕彰者にかかわるコレクションとともに紹介しました（5月13日より展示資料の約8割を入れ替え）。



長嶋茂雄 追悼特別展示「背番号3は永久に」

会期 2025年7月12日(土)～8月31日(日)

協力 読売新聞社、読売巨人軍

2025年6月3日に逝去した読売巨人軍の長嶋茂雄終身名誉監督を偲び、追悼特別展示を開催。長嶋氏が89年の人生で日本野球史に刻んだ燦然と輝く足跡とその魅力を、写真、映像や実物資料を通じて紹介しました。



特別展「東京六大学野球連盟100周年記念展」

会期 2025年9月13日(土)～11月24日(月・振休)

主催 公益財団法人 野球殿堂博物館、一般財団法人 東京六大学野球連盟

協力 株式会社 ベースボール・マガジン社

2025年に結成100周年を迎えた東京六大学野球連盟との共催で、特別展を開催中です。1925年秋の連盟結成以来、春秋のリーグ戦では数々の名勝負が生まれ、戦前戦後の野球人気の拡大に寄与しました。本展では、当博物館のコレクションに加え、各大学、野球部や関係者所蔵の貴重な資料を公開し、東京六大学野球連盟100年の歩みを紹介しています。

また、1926年秋から43年まで優勝杯として下賜されていた東宮賜盃（宮内庁 所蔵）が82年ぶりの公開となり、現在の優勝杯である天皇杯と並べて展示をしています（天皇杯の公開は9月14日～11月1日まで）



野球殿堂博物館 トピックス



「やきゅうの本だな 拡大版」

日時 2025年5月5日(月・祝)

図書室では、2025年3月より野球に関する本や雑誌を自由にお楽しみいただくことができるコーナー「やきゅうの本だな」をオープンしました。

5月5日(月・祝)にはこどもの日限定イベントとして、絵本やマンガなどの資料を追加し「やきゅうの本だな 拡大版」を開催。当日は100名以上の方にお立ち寄りいただきました。

伝統の一戦 ～THE CLASSIC SERIES～ 特集展示 巨人・阿部慎之助監督×阪神・藤川球児監督

会期 2025年5月2日(金)～5月7日(水)

読売ジャイアンツと阪神タイガースによる共同プロジェクト「伝統の一戦 ～THE CLASSIC SERIES～」の関連企画として、阪神甲子園球場の甲子園歴史館と協力して相互展示を開催。当博物館では上記期間、両監督関係の当館所蔵資料に加え、甲子園歴史館所蔵の藤川球児監督資料を特別展示しました。また、甲子園歴史館では4月25日(金)～5月25日(日)、当館所蔵の阿部慎之助監督の通算2000安打達成バットなどが公開されました。



■野球の学校2025

トークイベント「2025年の野球規則改正」

日時 2025年6月1日(日) 17:30～18:30

NPB野球規則委員の友寄正人氏(前NPB審判長)をお迎えし、2025年の野球規則改正のポイントや今後の見通し、日本野球規則委員会の役割等をお話しいただくトークイベントを開催。今年野球殿堂入りの富澤宏哉審判員との思い出やエピソードなどもお話しいただきました。

■野球の学校2025

公式記録員が教える「NPB式スコアの付け方」教室(初級編)

日時 2025年7月12日(土) 17:30～19:00

NPB記録部長の山川誠二氏をお迎えし、「NPB式スコアの付け方」教室(初級編)を開催。公式記録員の業務内容、NPB式(慶応式)スコアの特徴を説明していただいた後、記録法について試合映像を見ながら解説していただきました。



王貞治選手 868号本塁打バット公開

当館では、徳光和夫氏よりご自身が所蔵されていた【王貞治選手 通算868号本塁打達成バット】をご寄贈いただきました。当館見学と寄贈の様子は、「BSフジ『プロ野球 レジェン堂』」にて、7月8日(火)および7月15日(火)の2週にわたり放送されました。寄贈されたバットは、7月16日(水)より、常設展示 王貞治コーナーにて公開しています。

NPB、高野連の共同会見開催

7月18日(金)、未就学児等への野球の普及振興事業を連携、協力して実施していくNPBと日本高等学校野球連盟の共同事業「キッズ ファースト アクション～みらいへのキャッチボール プロジェクト～」の発表会見が野球殿堂ホールで開催されました。



高野連・實馨会長とNPB・榊原定征会長

野球殿堂博物館 維持会員 (2025年8月31日現在・順不同・敬称略)

2025年度維持会費をご入金いただき、有難うございました。今後ともよろしくお願い致します。

《法人・プラチナ会員 -10年以上継続-》

株式会社シミズオクト、株式会社テレビ朝日、株式会社横浜スタジアム、麒麟ビール株式会社、日本テレビ放送網株式会社、株式会社TBSテレビ、株式会社文化放送、株式会社竹中工務店東京本店、株式会社日刊スポーツ新聞社、一般社団法人共同通信社、株式会社ニッポン放送、株式会社博報堂、公益財団法人日本野球連盟、株式会社スポーツニッポン新聞社、株式会社ベースボール・マガジン社、株式会社東京ドーム、株式会社東京ドームファシリティーズ、株式会社関電工、株式会社電通、株式会社報知新聞社、公益財団法人全日本軟式野球連盟、ミズノ株式会社、株式会社みずほ銀行、サッポロビール株式会社、サントリー株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、後楽園事業株式会社、オリンピック興業株式会社、松戸公産株式会社、株式会社ムラヤマ、株式会社毎日新聞社、株式会社読売新聞東京本社、株式会社朝日新聞社、株式会社テレビ東京、株式会社兵左衛門、田村駒株式会社、株式会社レッツ、株式会社エポック社、株式会社東京ドームスポーツ、東京ケーブルネットワーク株式会社、株式会社東京ドームホテル、太平広告株式会社、サンケイスポーツ、株式会社時事通信社、日本野球振興世話人会、進商事株式会社、株式会社エース企画、株式会社アドサービス

《法人・ゴールド会員 -5年以上継続-》

シャープ産業株式会社、株式会社東洋ビルサービス、一般社団法人全日本女子野球連盟、株式会社丸和運輸機関、株式会社コナミデジタルエンタテインメント、株式会社BS日本、株式会社CS日本、三井不動産株式会社

《法人・一般会員 -5年未満-》

ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク、一般社団法人日本ポニーベースボール協会、日本ハム株式会社、株式会社岩手日報社、大正製薬株式会社

《個人・プラチナ会員 -10年以上継続-》

ロバート・クレベンズ、佐山和夫、池井優、永田陽一、川俣茂、明石真和、高井正秀、田口昌裕、山崎眞澄、泉正二郎、景浦隆男、狩野美知夫、林秀樹、前藤衛、小川拡、田中進一、齋須将、藤田啓二、荒田正治、蛭間豊章、大森正樹、古賀裕章、磯部和宏、野上雅之、小尾尚、前田恵、安井敬一、中村真悟、平野禎、灘谷和徳、松田栄、篠原一郎、喜屋武文雄、南部正広、折居教彦、長岡勤、西山克己、伊藤正浩、小碓秋人、永瀬郷太郎、井野修、野崎康之、潮田昌憲、久岡公一郎、中本夏樹、高橋和則、鈴木龍一、塚原隆、田名部和裕、内山雅博、津田倫太郎、藤田正身

《個人・ゴールド会員 -5年以上継続-》

山崎夏生、遠山泰久、古屋晶久、佐々木敏明、森川圭造、廣瀬信一、井上勝利、瀬戸口久雄、菊田康彦、日下正剛、濱田正行、高城謙造、坂下善紀、加藤肇、林一好、盛田房利、岡佳和、前田茂、松山昌之、大熊哲夫、鱸正明、井上翔太、庄司正信、樋口亘、土屋隆、岡田洋美、増永武義、西本光春、南雲靖夫、佐藤達之、鈴木国明、溝口明、海北光正、上村純子、大野敏和、岩村直道、佐藤吉昭、三上毅、石井一夫、伊藤綜一郎、岩瀬敬之、手島康彦、亀田健、小野祥之、影山一義、筆谷敏正、大川大作、菊池正恒、大野幸男、高山樹里、平井正彦、鴉田隆司、森田清司、大條晋也、淵上悠人、見米達也、堤哲、棟方史幸

《個人・一般会員 -5年未満-》

福島良一、松井真、小澤正修、北井誠一、嶋津龍太、樋口忠宏、北原義一、鈴木恵美子、高橋祐一、梶忠、三宗大介、安田拓人、山戸勝伸丞、土屋健太郎、栗山英樹、増田龍太郎、山岸茂幸、山戸隆誠、吉岡勝彦、上野勝宏、水野哲樹、森田稔一、尾塚智憲、佐藤晃、松田吉隆、向坂雄典、大島正敬、佃圭祐、石黒真奈美、山崎陽斗、工藤三郎、榊原定征、小笠原悠太、栗山智砂子、黒川隆、広澤克実、那須勇元、山脇剛大、小林薫、相澤孝行、櫻井宣久、山田雄一、中尾和樹、佐藤光保、金子智直、佐々木浩平、中村哲也、有光司馬、吉村一也、太田理、須田誠一、川瀬健人、前田泰孝、四関栄一、頼久貴行、川岸聖和、岡本成、岡本拓海、米沢谷友広、檜木隆広、小坂橋明、炭谷正滋、富田光、石井隆尋、小久保正美、杉山英司、松平浩、田中浩二、佐藤雅道、半谷亮、田所洋二、亀井俊介、打矢裕、藤岡浩二、松村和佳子、清水弘樹、中島康雄、中村勝彦、黒川岩人、大迫佑介

《ジュニア会員》

島野雅史、大山翔陸、五月女拓史、大島玄慈、高久翔央、奈良結人

「第10回 野球で自由研究!コンテスト」を開催決定!

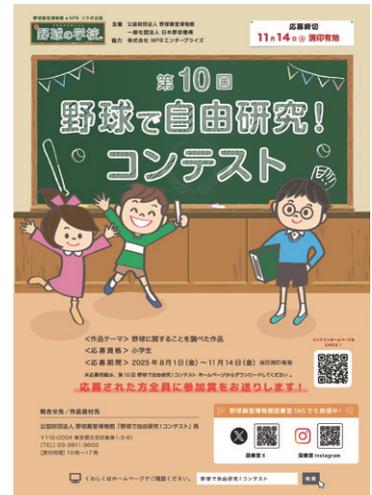
主催 公益財団法人 野球殿堂博物館 一般社団法人 日本野球機構
 協力 株式会社 NPBエンタープライズ

野球をテーマにした小学生の自由研究を対象に「第10回 野球で自由研究!コンテスト」を開催いたします。2016年にスタートした本コンテストも今年で10回目を迎えます。昨年の第9回では約200作品の応募があり、これまでにのべ1,200人以上の小学生から応募がありました。募集期間は8月1日(金)~11月14日(金)です。

来年の3月頃に受賞作品を発表し、受賞作品を中心とした作品展を館内で開催する予定です。応募者全員に参加賞があります。今年もたくさんのご応募お待ちしております。

■詳しい申込方法等については、ホームページをご覧ください。

<https://baseball-museum.or.jp/jiyu-kenkyu/contest/>



博物館からのお知らせ

▶博物館公式グッズ/新商品のご案内

●ポストカード

販売価格：各120円(税込)

今年殿堂入りされた、イチロー氏、岩瀬仁紀氏、掛布雅之氏のポストカードが新たに加わりました。当館受付及びオンラインショップで販売しておりますので、ぜひお求めください。



●マグカップ(レンガ・ミルク)

販売価格：各1,500円(税込)

今年は新色のミルクが登場しました。バットとボールをモチーフにした、当館オリジナルの商品です。重ねられるスタッキングタイプになります。※この商品は、一つ一つ手作業で色を塗布しております。そのため、多少色合いが異なる場合がございます。



博物館のご案内	場所	東京ドーム21ゲート右
	開館時間	10:00~17:00(最終入館16:30) ※東京ドームでのプロ野球開催日は、18:00閉館(最終入館17:30)
	入館料	大人 800円 小・中学生 200円 高・大学生 500円 6.5歳以上 500円
	休館日	月曜日(祝日、東京ドームでの野球開催日、春・夏休み中は開館)、年末年始(12月29日~1月1日)
	※休館日及び開館時間は変更する場合がございますので、事前に当博物館ホームページにてご確認ください。	

▶第2回理事会(5月23日 東京ドームホテル)

- 議題1. 2024年度事業報告・決算報告・監査報告の承認について
 議題2. 会議日程等の承認について
 報告1. 業務執行理事の職務の執行状況について
 報告2. 臨時休館について

▶第3回理事会(6月9日 オンライン開催)

- 議題1. 理事長の選定について
 議題2. 業務執行理事の選定について
 議題3. 会議日程等について
 報告1. 夏期展示の変更について

▶定時評議員会(6月9日 オンライン開催)

- 議題1. 2024年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の承認について
 議題2. 定款変更の承認について
 議題3. 理事及び監事の選任について
 報告1. 2025年度事業計画及び収支予算について
 報告2. 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について
 報告3. 職員退職について

▶訃報

2001年殿堂入り・小山正明氏が4月18日に逝去されました。1988年殿堂入り・長嶋茂雄氏が6月3日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

●編集後記 クーパーズタウン出張報告、夏休みイベント報告掲載のため、「殿堂入りの人々」「こんにちは図書館です」「知ってほしいこんな資料」はお休みしました。

野球殿堂博物館 Newsletter 第35巻 第2号

2025年9月25日発行

編集・発行 公益財団法人 野球殿堂博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61

Tel 03(3811)3600 Fax 03(3811)5369

<https://baseball-museum.or.jp/>

